



フージャースコーポ

「206家族、600名以上の人たちが生活する環境・街の創造です」
(フージャースハート・営業1課 樋口眞奈美さん)

総戸数206戸は、フージャースコーポレーション(廣岡哲也社長)にとって最大規模。同社は9月20日、「メイプルタウンウィズ戸田公園」のモデルルームをオープン、早速、取材に訪れた。

JR埼京線「戸田公園」駅から徒歩で約8分。敷地面積は約8110平方メートル。地上11階建ての老番館、同12階建ての式番館の2棟からなる。間取りは2LDK+S、4LDKで、専有面積は約66〜94平方メートル。
ランドスケープデザイン

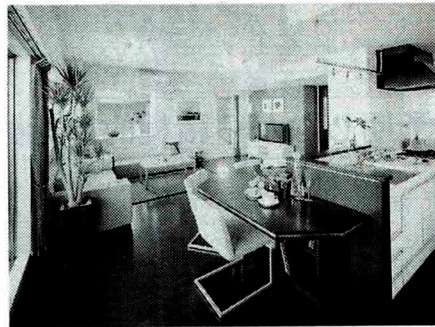


建物外観

ウィズ戸田公園

「街の創造」目指す 同社では最大206戸

カラーにオレンジの飾り柱(マリオン)を入れ、景観に彩りを添える。老番館と式番館の間には、この街の顔となるシユガメイプルの並木道(メイプルアベニュー)と、遊具施設を設けたガーデンパークを備える。また、利便性の追求から1階に24時間営業のコンビニエンスストアが入る。



2面採光のリビング・ダイニング

超の大型ウォークインクローゼット、下部収納で35センチ引き戸、腰掛けることもできる和室などが目を引いた。
全戸が南東・南西向きで、日当たりが良いのも特徴だ。予定価格は1898万円(約66㎡)〜3498万円(約94㎡)。発売は11月中旬を予定。

インには、「センチュリーパークタワー」の設計、「六本木ヒルズ」への参画など多くのランドスケープを手掛けた山口博喜氏を起用。シンボルとなるメイプルツリー(カエデの木)をはじめ、緑豊かな住環境を目指す。下層が茶色、中層が黄色、上層が白という3層

か、奥行きのある出窓(約40センチ)、L50センチ、LDと洋室の間の大型(230センチ)×120センチ引き戸、窓とバルコニー付きで2面採光の浴室、3畳